

光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2023年 3月号>

189号 2023.03.01 配信

3月、新年度からの新しい生活に胸をときめかせている若い世代とは対照的に、親世代では物価高に悩まされている方も多いのではないのでしょうか。ロシアのウクライナ侵攻から1年が経過し、エネルギーや食料などの値上がりが後を絶ちません。昨年12月の消費者物価指数は41年ぶりの高水準でした。

このような時こそ生活や家計を見直す良い機会と捉え、知識や知恵を総動員できたら素敵です。まずは身近なところから、定期購入の見直しやポイントの交換もれはないかなどのチェックを始めてみるのはいかがでしょうか。

(福祉共創・消費ネットワーク委員)

■同窓会&学園だより

◇2022年度卒業式 および 光葉同窓会入会式

3月16日(木) 人見記念講堂において、午前は大学院、人間文化学部(日本語日本文学科・歴史文化学科)、生活科学部(環境デザイン学科・健康デザイン学科・管理栄養学科・食安全マネジメント学科)、午後は国際学部(英語コミュニケーション学科・国際学科)、グローバルビジネス学部(ビジネスデザイン学科・会計ファイナンス学科)、人間社会学部(心理学科・福祉社会学科・現代教養学科・初等教育学科)の学位記並びに卒業証書授与式が挙行されます。当日は、光葉同窓会同窓生を代表して吉原令子さん(1987年英米文学科卒業)が祝辞を述べ卒業生の門出を祝福いたします。

引き続き、第2緞帳「光葉の大樹」前にて光葉同窓会入会式を行います。会長の挨拶、学生代表が入会のことばを述べ、新たに1,500人程の会員をお迎えします。

卒業のお祝いと入会の記念として、同窓会から、校章入りの幸せを運ぶスプーンを贈ります。



また、今年度各学科から選出された64人の新幹事をご紹介します。

卒業式祝辞と入会のことばは、4月の光葉同窓会報100号に掲載します。

■ 広げよう光の葉

稲村 葵さん

2023年3月卒業 英語コミュニケーション学科

誰もが「好き」を追求できる社会のために

みなさんの好きなことは何ですか？私にはピアノ、音楽を聴くこと、美味しいご飯を食べること、空を見ることなど、挙げたらきりが無いくらい好きなことがたくさんあります。特に私は「人」が好きです。中でも、人と話して相手や自分の新しい部分を発見することと、誰かのために何かをすることが好きです。

思い返せば昭和女子大学で過ごした4年間においても、これらの「好き」が行動の原点にありました。授業でディスカッションをし、友達の意見を通して新しいことを知ることは、私のまだ見ぬ世界を広げているようでした。学年代表としての活動や「ELC mate」というプラットフォームの設立・運営をすることで、コロナ禍で生活に制限がある学生から「ありがとう」という声が届いた時には、「また頑張ろう」と奮起するきっかけになりました。昨年11月には学生アンバサダーとして参加させていただいた光葉同窓会神奈川県支部会においては、他では聞けない先輩方のお話をうかがうことができ、とても貴重で新鮮な時間となりました。

しかし、3年次にあるニュースを通して、このように好きなことを堂々と追求できることは当たり前ではないと初めて知りました。それは、化粧は女性がするものであるという固定概念が原因で後ろ指をさされてしまうために、美容が好きな男性がデパートなどで化粧品を買いにくく、好きな美容を堂々と追求できないというものでした。そのような現状を踏まえ、ぼんやりと「当たり前好きなことを追求できる社会づくりをしたい」「追求できていない人の助けをしたい」と思うようになりました。そして、実践するためには、まず私が追求できていなければと奮起しました。

私が好きな「人」に重きを置き、「より多くの人と社会に貢献できる仕事」「人から学び、人との出会いを大切にできる仕事」「自分自身の成長に繋がる挑戦ができる仕事」という三つの軸を中心に就職活動を行いました。幅広い業界をみる中で、PRプランナーという職種に出会いました。説明会に参加し、PRプランナーが最も自分らしく社会と人の味方になれるかもしれないと、とてもワクワクしたのを今でも鮮明に覚えています。事業内容と働く人に一目惚れした企業で、今年4月からPRプランナーとして働くことになりました。

いつか「あなたと仕事をしたい」と言ってもらえるPRプランナーになれるよう、多くの「人」との出会いを大切にしながら、私自身の「好き」を追求していきます。あらゆる人が堂々と「好き」を追求できる社会になること、そして昭和女子大学で過ごしたかけがえのない4年間が私たちの背中を押してくれることを願っています。 【End】

※4月号は、4月3日(月)に配信します。 読んでのご感想、ご意見をお寄せください。